

農業

いちご直売オヒロパバ 佐藤日向さん
× バラ農家 大谷伸二さん

2020年「自分が食べておいしいもんがいいな」と、河原浜町の実家の農地を借りてイチゴ栽培を始めた佐藤日向さん28歳。東京の大学も選択肢にあったけれど、都内で働く人の疲れた姿に共感できず、好きな農業をやる決心を固めました。

上細井町の実家で父親の代から始めたバラ農家を継ぎ、今は前橋バラ組合のハウスに通う大谷伸二さんは47歳。この道27年のキャリアを積んでいるベテランだけど、「バラを育てることは失敗の方が多くて」と語ります。

イチゴもバラもそれぞれ「おいしい」「きれい」と世の中の高い評価を受ける2人。その背景にある「前橋ならではの」を探ってみると。

コンテストに使うバラの品種を選ぶのに、「ぱっと見」の第一印象を大事にしているという大谷さん。そんなバラを栽培する上で、バラ仲間が「ぼそっと」くれるアドバイスも役立つのだと、ひょうひょうと語りました。

日向さんにはそんな仲間いますかと尋ねると、「収穫期が重なるから仲間との情報交換が難しい」「ただ、同じ育て方をしても同じものは作れない」「自分はこの土地の寒暖差や風の吹き方とかが武器になっている」と。

そこに日向さんのパートナー、じゅんさん登場。パティシエをしていた太田の店に納品される日向さんのイチゴに「こんなおいしいイチゴ食べたことない!」と感動したことが縁で結婚。嫁ぎ先の河原浜町では「地域にすごい支えられてます」と語り、さらに「日向さんは近所のおばあちゃんたちにすごくかわいがられてるんです」そう幸せそうに語るの、ボクらはちょっと照れ笑い。

ああ、これが前橋のおいしさ、美しさなんだねえ。

おばあちゃんたちに守られている

インクルーシブ

SHOP CAFÉ Qu 千木良真弓さん
× 障害福祉サービス事業所 麦わら屋 小野介也さん

道の駅まえばし赤城のQuの運営を担う千木良真弓さん。2007年、東京の大学を卒業し就職した千葉の福祉ショップで障害のある人との関わりを楽しめたことが、今に繋がります。東日本大震災を機に前橋へUターン。福祉法人の就労支援員。14年、アーツ前橋の福祉ショップ立上げの店長に抜擢されます。「当時は通りに人が歩いてなくて…」と語る千木良さんは、「でも、だからこそ、1人ひとりとゆっくり話すことができて、前橋の面白さにも気付くことができました」と続けました。

そんな千木良さんを「前橋の福祉界の伝説の人」と捉えていた高崎出身の小野介也さん。大学在学中のボランティアで障害のある人たちと向き合ったこと、それを「当たり前」と感じたことで、富岡の施設に就職するも、「障害のある人がより地域になじみ生かされる」理想を求め前橋へ。2015年に高井町に障害福祉サービス事業所「麦わら屋」を、24年にはアート作品発表の拠点「麦カフェ」をまちなかに開設。それは「前橋の小ささに救われた」から実現できたんだと語ります。

仲間を大切にする物語『ワンピース』から命名した「麦わら屋」は、前橋の人との豊かなコミュニケーションが編み込まれてるんだね〜。

今回 Quで初めて会った千木良さんが自分より若くて驚いたって小野さん。千木良さんは「うちのメダカも売って」と持ちかけてきた「麦わら屋」を、「変わったおじさんが運営する施設」と勘違いしたって笑いながら語ります。

「少ない」や「小さい」をポジティブに語り、福祉の現場で交差する2人。そこで生まれる熱は「まえばし」をより温かなものに変えてくれそうです。

人が少なかったからこそ
まえばしセッション

前橋は

もうすこし
めづき
そだてた
まえばし
セッション

前橋ビジョン「めぶく。」策定から10年目。今の前橋ってどんなだろう? そんな好奇心と4つのテーマで街に暮らす人と語りあったら前橋らしい言葉に出会うことができました。

ぐんま愛
取材、スケッチ
編集、デザイン
小池アミゴ

移住

ラトリエプロカント 石井トニーさん、レイコさん
× 株式会社望心 望月誠さん、藍さん

フランス生まれのトニーさんは留学先のイギリスでレイコさんとの出会い、2001年にレイコさんの故郷前橋を初めて訪れました。

長野出身の誠さんは就職先の埼玉の医療機関で藍さんとの出会い意気投合。誠さんと藍さんはお互いの「生きやすさ」を求め、移住相談会に参加。2016年に前橋を選び、2人は入籍し、お子さんを授けました。

トニーさんとレイコさんは里山での人々のクリエイティブな暮らしを求め栃木の益子に移住。しかし東日本大震災と原発事故を機にパリに移住。子育てや出産を通し「家族の暮らし」をより優先し考えるようになり、2014年前橋へ。生業であるフランスのアンティーク販売の拠点をします。

ストレスに弱かった藍さんにとって赤城山は癒やしの場となり、「赤城山にすぐ行ける前橋」に救われていると語ります。誠さんは仕事に奮闘するも、家族との時間をより大切に思い、在宅でも作業可能なネット通販の事業を立ち上げました。

トニーさんとレイコさんが前橋で暮らし始めると、「めぶく」波に乗り前橋に戻る人が現れ始めます。新たな街づくりの芽吹きは、2人が前橋で暮らし意味を高めます。

藍さんは自然の中で無邪気に振る舞う「昭和の夏休みのような子どもたち」に、前橋での子育ての可能性を感じています。誠さんは家族のために頑張れば、あとは自分たちが自由になれる場所だと、藍さんに視線を投げ、その表情を確かめながら語りました。

トニーさんが「前橋はまだまだ磨くことのできる場所」だと眼を輝かせると、レイコさんは「みんながごはんがおいしいって喜んでくれるので…」「ここがいいなっ」と、にっこり笑顔で。

まちなか

レストラン・モモヤ 森田和子さん
× GRASSAの蛭さん

「写真は出さないでください」と語る蛭さんは16歳。まちなかにお父さんがパスタ専門店GRASSAを出店するのに合わせ東京の世田谷から前橋に引っ越して来たのが10年前、小学1年生の時。小学2年生で「ぐんま愛」の対談企画に登場してくれています。その時の対談相手だったレストラン・モモヤの森田和子さん。「ひさしぶりね〜」と学校帰りで疲れた蛭さんをいたわりながら「わたしの前橋」を語ってくれます。館林に生まれ、1970年の結婚を機に人て湧き立つ前橋へ。目まぐるしく働いた日々も、徐々にまちなかがさびれていっても、お客さま1人ひとりのニーズに応えたことで、今のモモヤがあり、蛭さん家族とも出会うことになりました。

78歳の先輩の話を聞いた蛭さんは「自分はあまり変わってないけど、こころはちょっとにぎやかになった」と語ります。

和子さんはさびれた街に現れた若い仲間を大切に見守ってきました。そうできた理由を尋ねると「私もよそから来たから。やっぱりね、優しい街ですよ前橋は」蛭さんは「今度友だちとモモヤへ行こうって話してる」って。16歳にとってモモヤは選択肢のひとつなんだね〜! 「ハヤリの感じかな、TikTokとかインスタののってるよ」ハワイ旅行やカナダ留学など海外での経験も重ね、将来は動物看護の仕事に就くことを目指し学ぶ高校1年生。蛭さんにとっての前橋の10年を尋ねると、「東京じゃこの経験はできなかっただろうな」「1番の友だちができたのもそうだし」和子さんが優しい視線を蛭さんに送ると、対談に立ち会ってるみんなが笑顔を見せました。

前橋は温かく優しい街です

共愛学園

SINCE 1888

共愛学園こども園 re school
共愛学園小学校 elementary school
共愛学園中学校 unior high school
共愛学園高等学校 enior high school
共愛学園前橋国際大学 niversity

共愛学園はこども園から大学まで揃う県内唯一の総合学園です

法人本部 群馬県前橋市小屋原町 1154-4 Tel:027-266-7575 Fax:027-266-7576

建設プロダクト ヤマト

建設プロダクト ヤマト
www.yamato-se.co.jp

JA FARMERS

JAファーマーズ相模町 前橋市朝日町 1-38-21 TEL.027-220-1313
JAファーマーズ大蔵町 前橋市朝日町 143-1 TEL.027-287-4161
JAファーマーズ新井川町 前橋市川原町 2-4-9 TEL.027-228-5313

Yakult

群馬ヤクルト販売株式会社
くおれいふ・おれいふせ
TEL.0800-700-8960

MAEBASHI

世界中がだんだん攻撃的になっている。今こそ、赤城山のように、おらおらで、のびのびと、やさしい気持ちで暮らしたい。この美しい「まえばし」で。リョウモウは映画「なごのまの」のメインスポンサーです。 リョウモウ

地域の力 応援キャンペーン ぐんま愛 協賛社

EARTH CARE 株式会社アースケア	IHI 株式会社IHIエアロスペース	アイオー信用金庫	Aizawa 株式会社アイザワ	赤城自然園 株式会社アカギ	あかぎ信用組合	あすかホール あすからいふ倶楽部	有賀園ゴルフ
石川建設	インペーターズ	いちはん	糸井商事 糸井ホールディングス	カネコ種苗株式会社	北群馬信用金庫	共愛学園 KYOAI GAKUEN	桐丸学園
桐生信用金庫	グレイチペル	ぐんたね	群馬銀行	群馬県信用組合	群馬ダイハツ	群馬トヨタ	群馬ナブコ
くまみらい信用組合	クアサプライシステムズ株式会社	コンサル&ファーム	坂本工業	佐田建設	JAグループ群馬	JESCO AKUZAWA	JESCO SUGAYA
しのめ信用金庫	住宅金融支援機構	株式会社スナガ	第一生命 Daiichi Life Group	高崎商科大学 高崎商科大学短期大学	高崎松風園	高崎信用金庫	東京海上日動
TOYOTA 東和銀行	TOYOTA WOODYOU HOME	トヨタカラー群馬	日興ラサ	株式会社日本キャンパック	JFC 日本政策金融公庫	ネットショップ群馬	富士スバル
冬木工業	プリエッセ	Primavera	HOKUSHIN 北原建設株式会社	北海道電力株式会社	三電電機	株式会社ミとわ	株式会社三山製作所
メロウド	ヤマト	ようざん	5らん藤岡	連合群馬	ぐんま愛	ぐんま愛	

地域の力 応援キャンペーン ぐんま愛
「ぐんま愛」は、地域の課題をもとに考え、地域の魅力を発信するお手伝いをするキャンペーンです。上毛新聞社は、県内自治体と協賛企業・団体の協力を得て2016年から「ぐんま愛」を展開しています。